



阿蘇市が舞台の夏目漱石の小説『二百十日』が今年、発刊100周年



夏目漱石 石像

文豪 夏目漱石が、内牧や阿蘇山を訪れた時のことを題材に書いた小説「二百十日」が明治39年発刊されてから、今年でちょうど100年目にあたるとして、舞台となった内牧を中心に記念イベントが11月まで開催されています。

夏目漱石が実際に阿蘇を訪れたのは、明治32年。8月30日に養神館(現在のホテル山王閣)に泊まり、翌日阿蘇登山をしています。そもそも二百十日とは「台風の来る日」といわれ立春から210日目をいいます。夏目漱石が訪れた日もちょうど悪天候に見舞われたのか、小説「二百十日」はその時の様子などを主人公の圭さん、碌さんの軽妙なやりとりで描いたおもしろい小説です。話の一番最初に出てくるお寺は「明行寺」……。100年前の阿蘇市が楽しめる一冊です。阿蘇図書館で、記念のコーナーを設けています。ぜひ、この機会にご覧ください。



『二百十日』ゆかりの明行寺のいちよう

<主なみどころ・催しもの>

- ▼漱石先生「二百十日」パネル展 (ASO 田園空間博物館~12月9日まで)
 - ▼阿蘇高校「二百十日」研究発表会 (山王閣で10月7日開催)
 - ▼俳句大会、漱石かるた大会など
- ※その他、様々なみどころ・催し物が予定されていますので、詳しくは阿蘇インフォメーションセンター(TEL32-1960)にお問い合わせ下さい。



▲記念館(山王閣)

9月1日から指定管理者による管理が始まります!

今まで公の施設を管理できる団体は、公的な組織・団体に限られていましたが、議会の議決を経て、企業や民間団体なども管理者になれるという制度です。

公の施設の管理に企業や民間団体のノウハウや能力が幅広く活用されることで、多様化する住民ニーズに、効果的・効率的に対応し、より質の高い住民サービスを提供し、経費を節減することが期待されます。

また、制度移行後も市は指定管理者に対して、必要に応じて指導・監督しますので、今までどおりご利用ください。

今回、指定管理者制度が導入される施設は阿蘇市内で24ヶ所となります。詳しくは阿蘇市のホームページをご覧ください。



<ATM設置のお知らせ>

住民サービスの向上を目的に、銀行の自動サービスコーナー(ATM)を肥後銀行及び熊本ファミリー銀行の協力を得て、阿蘇市役所前に設置されました。市役所にお越しの際は、是非ご利用下さい。

利用時間 平日・土・日・祝日/9:00~19:00

※ご利用内容は銀行ごとに異なります。時間帯や曜日、銀行によっては手数料がかかる場合があります。